

令和7年度事業報告書

熊本県の人口は、1,696,144人、高齢化率は32.6%〔いずれも熊本県推計人口調査(令和6年10月1日現在)〕であり、全国より早く人口減少、高齢化が進行している。

このような中、県では、令和6年12月に「くまもと新時代共創 基本方針・総合戦略」(令和6年度～9年度)を策定され、その中で「県民の命、健康、安全・安心を守る」ため、「健康的で長寿な社会の実現」に向けた「人生100年時代の充実に向けた体制づくり」を掲げられている。

また、令和6年3月に策定された「第9期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画(長寿・安心・くまもとプラン)」においても、「高齢者が健やかに暮らし、みんなで支え合う“長寿で輝く”くまもと」づくりを目指し、すべての高齢者が、暮らしたいと思う地域・場所で、快適かつ安心・安全に、生きがいと社会参加の機会を持ちながら、自立して長寿を全うすることのできる熊本を目指すこととされている。

当財団には、こうした状況を踏まえ、「“長寿で輝く”くまもと」を目指し、活力ある長寿社会づくりの一翼を担うことが期待されており、令和7年度も、国や県と協調し、市町村、社会福祉協議会、老人クラブ、各種団体・企業等との連携に努めるとともに、効率的な運営に留意しながら、「高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業」に取り組んだ。

なお、これまで財源の一部を補完してきた「ねんりんピック基金」が令和5年度にその役割を果たしたため、令和6年度から基本財産を取り崩し、事業の財源としている。

「高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業」

事業実施状況

1 広報事業

高齢者の生きがいと健康づくりに役立てるための情報提供事業

(1) 情報誌「さわやか」の発行（年2回）

健康・保健・福祉等に関する情報はもとより、高齢者の社会参加・貢献や仲間づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行し、企業、市町村、市町村社協、老人クラブ、病院、公民館、図書館等に、第102号(令和7年8月刊)及び第103号(令和8年2月刊)を各10,500部配布した。

(2) 財団事業紹介等のホームページの運営

当財団の各種情報発信や、くまもとねんりんピックをはじめ、各種事業の参加者募集等、ホームページにより随時に的確な情報を提供した。

また、フェイスブックを活用し、財団と利用者あるいは利用者相互の交流の場を提供した。

(3) さわやかパートナーシップ講演会の開催

熊本さわやか大学校卒業生の地域における主体的な活動の活性化及びさわやか大学校の広報のため、各校卒業生会とのパートナーシップのもと、生きがいや健康づくりのための講演会を開催した。

- 熊本校 令和8年2月3日(火) 参加者 180 名
演題 「台湾のことについて
～コミュニケーションのコツを掴みましょう～」
講師 邱 桂芬 氏 (中国語・台湾語 語学講師)
- 八代校 令和7年8月26日(火) 参加者 343 名
「安全・安心コンサート in 八代」
講師 熊本県警音楽隊、八代地区交通安全協会
- 人吉球磨校 令和8年2月16日(月) 参加者 58 名
演題 「ご縁に育まれるいのち」
講師 那須弘紹 氏(慈願寺住職)
藤岡教頭 氏(明導寺住職)
- 天草校 令和8年3月25日(水) 参加者 50 名
演題 「熊本の宝 干潟域沿岸の生態系」
講師 堤 裕昭 氏 (熊本県立大学学長)

2 人材育成事業

高齢者が地域の活力維持の担い手となるための、学習、活動機会の提供及び高齢者の持つ豊かな知識や経験の活用とその支援事業

(1) 学習機会の提供

① 熊本さわやか大学校の開校

高齢者の生きがい・健康づくりと仲間づくり、社会参加の促進を図るとともに、高齢社会のリーダーを育成するため、熊本さわやか大学校を開校した。

	定 員	入学者	修了者
熊本校(33期)	100名	50名	40名
八代校(25期)	50名	12名	10名
計	150名	62名	50名

② 出前講座の開催

遠隔地の高齢者を対象に熊本さわやか大学校の講師を派遣し、生きがい・健康づくり、並びに社会参加意欲向上のため、2地域で開催した。

○人吉球磨校 令和7年10月20日(月) 参加者 59 名

演題 「終活をしよう！」

講師 跡部 尚子 氏

(特別養護老人ホームくわのみ荘施設長)

○天草校 令和7年8月26日(火) 参加者 62 名

演題 「熊本の明治維新 ～ジェーンズの業績～」

講師 黒田 孔太郎 氏

(元ジェーンズ邸館長)

(2) 高齢者の人材活用、活動支援

高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を活用するとともに、その活動を支援した。

① さわやかボランティアズ活動の支援

さわやか大学校の卒業生が地域毎に仲間づくりを進めながら、ボランティア活動を実践していく趣旨で結成された「さわやかボランティアズ」の主体的な活動を支援した。

(主な活動)

- ・環境美化活動（河川や公園、動物園駐車場など）
- ・伝承工作や昔あそび体験教室の開催
- ・財団主催のシニア美術展、さわやか囲碁・将棋大会運営補助

②さわやかシニアくらぶ活動の支援

熊本さわやか大学校卒業生等で組織する「熊本さわやかシニアくらぶ」が行う小旅行等のPRを支援した。

③「熊本さわやか知恵袋」登録者の活用

長年にわたって培ってきた知識や技能を有する高齢者を登録し、その方々を地域や団体等の依頼に基づき派遣した。子ども達との交流、福祉施設慰問及びスポーツ・文化の普及等、高齢者の地域活動の活性化を図った。

- ・登録者数（スポーツ、アトラクションなど5分野 令和7年3月31日現在）
個人：73名、団体：9グループ
- ・活動状況 財団紹介分 1件（令和7年度）

3 スポーツ・文化振興事業

各種スポーツ・文化活動を通じた高齢者の健康保持と交流機会の拡大及び新しい仲間づくりや積極的な社会参加の促進事業

(1)くまもとねりんピックの開催

高齢者の健康保持と交流機会の拡大を図るため開催した。

- ・期間 令和7年3月9日(日)～5月21日(水)
- ・会場 熊本県民総合運動公園ほか10会場
- ・参加者 1,585名
- ・種目 19種目
テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、健康マラソン、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、ソフトバレーボール、サッカー、ラージボール卓球、弓道、剣道、ダンススポーツ、太極拳、バウンドテニス、スポーツウェルネス吹矢、バドミントン、健康マージャン

(2) 熊本県さわやか囲碁・将棋大会の開催

高齢者が日頃から親しんでいる囲碁・将棋を通じて、相互の交流や生きがいを促進するため開催した。

- ・期日 囲碁 令和7年5月31日(土)、将棋 6月1日(日)
- ・会場 熊本県総合福祉センター
- ・参加者 囲碁76名、将棋40名

(3) 熊本県シニア美術展の開催

高齢者の文化活動を促進し、生きがいを推進するため開催した。

- ・期間 令和7年10月1日(水)～10月5日(日)
- ・会場 熊本県立美術館 分館
- ・部門 6部門(日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸)
- ・出展作品数 262点

(4) 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜 2025)参加

スポーツ等の選手団を派遣するとともに、美術作品を出展し、他県の高齢者等との交流を図った。

- ・開催地 岐阜県内 17市町村
- ・期間 令和7年10月18日(土)～10月21日(火)
- ・派遣選手 125名(スポーツ、健康マージャン及び囲碁・将棋)
- ・種目 20種目
- ・上位入賞種目 第3位 : ペタンク、マラソン(10 km 女子 70 歳未満)
- ・美術展出品 令和6年度に開催した第36回熊本県シニア美術展6部門のうち、上位入賞10作品を出品。写真の1作品が長寿社会開発センター理事長賞(全国3位)を受賞。

(参考)

組 織 図 (令和7年度)

